

(3) 金沢井波線の全線供用を控え、身近となる富山県南砺地域からの観光誘客を図るべきと思うがどうか。

次に、知事は、広域交流ネットワークの整備を促進するため、主要地方道金沢井波線が、11月4日に全線供用され、富山県の南砺地域などからの交流人口の拡大を図りたいと申されました。

因みに、南砺市と野々市市の市花は椿であり、両市の間にある金沢市も成巽閣(せいそんかく)の欄間が椿の花であるように、関連も深く、南砺市から金沢市を経て野々市市まで、南砺市の富山県道を経由で、金沢井波線、金沢小松線、額谷三浦線、2級幹線本町新庄線を「椿夢街道」と称して、沿線に椿を植えようと云う声が高まって来ております。

故に、平成27年3月まで、北陸新幹線金沢開業を目前にして、南砺地域からは、金沢井波線の全線供用で「新幹線駅は、金沢駅を利用したい。そして、病院も、買い物も、大学等の通学等を含めて、金沢市に、石川県にシフトして行きたい」と聞いております。

このように本県にとって、金沢井波線の全線供用を控え、身近となる富山県南砺地域からの観光誘客を図るべきと思うが、どうでしょうか。